6 月 11 日(日)に京都大学にて名古屋大学対京都大学定期戦が行われました。男子 20 人制の対戦と抜き試合、女子 9 人制の対戦と抜き試合を行いました。

結果について、男子は対戦と抜き戦の両方で敗北、女子は対戦と抜き戦の両方で勝利しました。男子は実力で大きな差があることを実感させられる結果となってしまいました。一方で女子は強さが拮抗している試合を勝ち切ったことで、七大戦に向けて良いイメージをつかむことができたと思います。

多くの反省すべき点を選手も応援をする人も発見することができました。特に応援での雰囲気作りは試合でしか得られない経験なので、今後の試合に生かせるようにして生きたいと思いました。

自分の強みを出せなかった選手、強みを出して上で負けてしまった選手は自身の伸び代を強く感じたと思います。4 年生は優勝大会までの半年間で、3 年生以下は年単位でどう伸ばすかを考える材料を得ることができたので、日々の稽古に落とし込んで成長する糧としていきたいです。

筆者　安藤